



令和3年1月5日
午前10時発表

【問い合わせ先】

第一管区海上保安本部交通部

安全対策課長 片山 敬義

TEL 0134-27-0118（内線 2640）

令和2年における海難発生状況（速報値）

船舶海難隻数は79隻

前年に比べ17隻減少

人身海難者数は186人

前年に比べ15人増加

第一管区海上保安本部管内における昨年1年間の海難発生状況は次のとおりです。

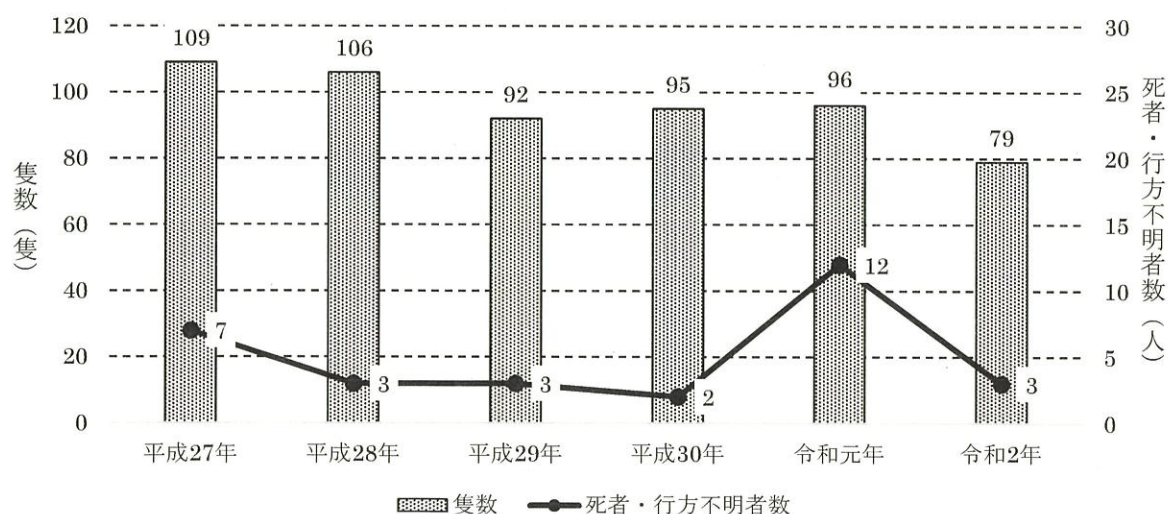
なお、当広報でお知らせする令和2年のデータは速報値であるため、今後変更されることがあります。

1 船舶海難の発生状況（内訳：別紙1）

船舶海難隻数は79隻（前年比17隻減。以下カッコ内は前年比。）となり、過去5年間で最少の隻数です。

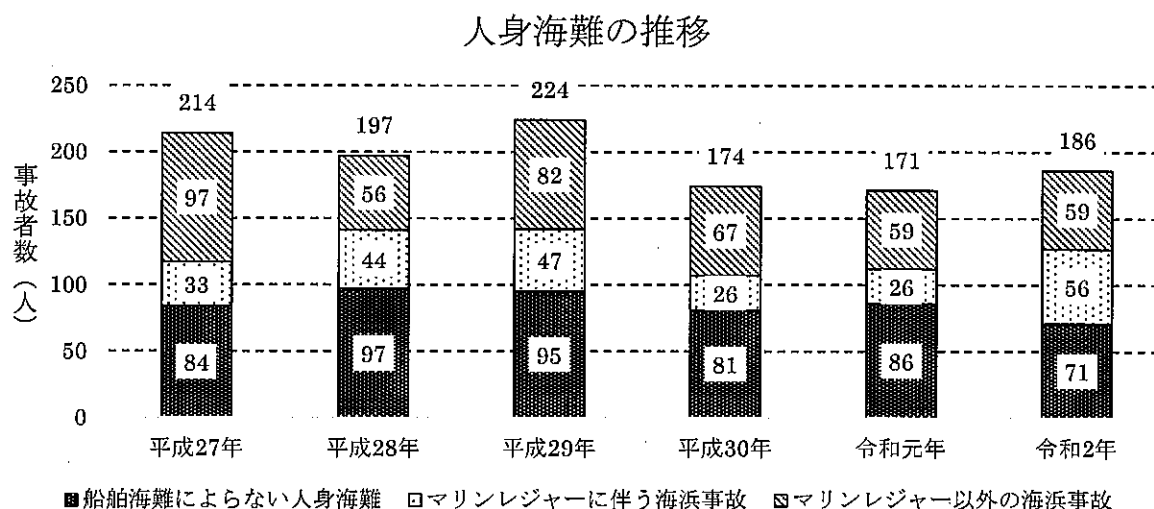
船舶海難に伴う死者・行方不明者数は3人（9人減）でした。

船舶海難の推移



2 人身海難の発生状況（内訳：別紙2）

人身海難者数は186人（15人増）で、うち船舶海難によらない乗船者の人身海難者数は71人（15人減）、マリンレジャーに伴う海浜事故者数は56人（30人増）、マリンレジャー以外の海浜事故者数は59人（増減なし）でした。



【用語】

船舶海難 海上における船舶に衝突、転覆、乗揚、浸水、爆発、火災、行方不明、機関・推進器・舵等の損傷又は故障、その他安全な運航が阻害された事態が生じた場合をいう。

人身海難 船舶海難によらない乗船者の人身海難、マリンレジャーに伴う海浜事故及びマリンレジャー以外の海浜事故をいう。

船舶海難によらない乗船者の人身海難

衝突、乗揚、転覆等の船舶海難以外の事由により発生した船舶の乗船者の海中転落、負傷、病気等をいう。

マリンレジャーに伴う海浜事故

遊泳中や釣り中などマリンレジャー中の事故をいう。

マリンレジャー以外の海浜事故

岸壁等からの海中転落や自殺等をいう。

船舶海難の発生状況

1 船舶海難隻数

(1) 船舶用途別 (隻)

(速報値)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
漁船	47	62	54	45	33	31
プレジャーボート※	29	29	22	23	40	22
貨物船	14	6	5	11	14	9
遊漁船	10	4	0	4	3	2
旅客船	2	2	2	3	2	1
作業船	1	0	1	1	1	0
タンカー	2	1	0	3	0	3
その他	4	2	8	5	3	11
合計	109	106	92	95	96	79

TOPIC

※ プレジャーボート：スポーツ又はレクリエーションに用いられるモーターボート、ヨット、水上オートバイ、ゴムボート及び手漕ぎボート。

TOPIC

前年急増したプレジャーボート海難は 22 隻で、例年並みの隻数に減少した。

なお、前年急減した漁船海難はその隻数を維持している。

(2) 海難種類別 (隻)

(速報値)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
衝突※ ¹	21	25	16	30	12	13
単独衝突※ ²	13	5	3	6	12	9
乗揚	7	2	6	4	10	8
転覆	11	17	9	4	7	5
浸水	9	14	8	7	6	6
火災	5	2	4	3	6	5
爆発	0	0	0	0	0	1
運航不能※ ³	42	39	38	38	42	32
その他※ ⁴	1	2	8	3	1	0
合計	109	106	92	95	96	79

TOPIC

※1 船舶が、他の船舶との接触により損傷を生じたもの。

※2 船舶が、物件(岸壁、防波堤、漂流物等)との接触により損傷を生じたもの。

※3 機関故障、推進器障害、舵障害、燃料欠乏、無人漂流など。

※4 船位喪失、船体行方不明など。

TOPIC

運航不能の内訳は、プロペラに網やロープが絡まった推進器障害が 7 隻と最も多く、次いで操船者の海中転落による無人漂流、機関故障がそれぞれ 5 隻であった。

2 船舶海難に伴う死者・行方不明者数（人）

（速報値）

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
死者	6	3	2	2	5	3
行方不明者	1	0	1	0	7	0
合計	7	3	3	2	12	3

TOPIC

TOPIC

死者 3 人のうち 1 人は漁船、2 人はプレジャーボートの乗船者である。

なお、前年は一度に 8 人の死者・行方不明者を伴う大規模海難が発生したが、当年は発生しなかった。

人身海難の発生状況

人身海難者数 (人)

(速報値)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和2年
①船舶海難によらない乗船者の人身海難	84(14)	97(15)	95(17)	81(20)	86(19)	71(17)
②マリンレジャーに伴う海浜事故	33(14)	44(18)	47(24)	26(7)	26(9)	56(16)
③マリンレジャー以外の海浜事故	97(59)	56(37)	82(60)	67(49)	59(42)	59(44)
合計	214(87)	197(70)	224(101)	174(76)	171(70)	186(77)

() は死者・行方不明者を示す

① 船舶海難によらない乗船者の人身海難 (人)

(速報値)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和2年
海中転落	11(6)	11(4)	15(11)	10(8)	10(7)	14(8)
負傷	49(0)	58(6)	55(2)	43(1)	41(2)	30(1)
病気	23(7)	23(5)	23(4)	25(10)	31(8)	24(5)
中毒	0(0)	0(0)	2(0)	2(0)	2(0)	0(0)
自殺	0(0)	1(0)	0(0)	1(1)	2(2)	3(3)
帰還不能	0(0)	4(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
その他	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
合計	84(14)	97(15)	95(17)	81(20)	86(19)	71(17)

() は死者・行方不明者を示す

TOPIC

負傷 30 人 (11 人減) と病気 24 人 (7 人減) は昨年より減少しているものの、いずれも漁船での発生は半数を超え、病気にあつては「60 歳以上」が約 4 割を占める。

② マリンレジャーに伴う海浜事故 (人)

(速報値)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和2年
釣り中	18(11)	21(9)	35(15)	11(5)	17(7)	36(10)
遊泳中	14(3)	11(6)	10(7)	5(0)	1(0)	16(4)
磯遊び中	0(0)	4(1)	0(0)	1(1)	3(1)	2(2)
サーフィン中	1(0)	2(0)	0(0)	0(0)	3(0)	0(0)
ボードセーリング中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)
上記以外の事故	0(0)	6(2)	2(2)	9(1)	1(1)	2(0)
合計	33(14)	44(18)	47(24)	26(7)	26(9)	56(16)

() は死者・行方不明者を示す

TOPIC

- ・最も多い釣り中の事故には、5月に石狩湾港で一度に11人が防波堤上に取り残された事故が含まれる（全員救助）。また、死者10人はいずれも海中転落によるもので、うち6人は単独行動しており目撃者がおらず、転落時の詳細は判明していない。
- ・大幅に増加した遊泳中の事故16人のうち9人は帰還不能となったもので、うち7人は、8月12日に石狩市の不開設海水浴場2箇所ですべて同日に発生したものである（全員救助）。また、遊泳中の死者、行方不明者4人はすべて海水浴場以外の海域で発生したものである。

③ マリンレジャー以外の海浜事故（人）

（速報値）

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年	令和 2 年
海中転落	36(20)	21(16)	27(15)	28(17)	22(15)	27(18)
負傷	1(0)	0(0)	0(0)	3(1)	0(0)	1(0)
病気	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)	1(0)
中毒	0(0)	0(0)	1(0)	1(1)	0(0)	0(0)
自殺	43(35)	32(19)	41(35)	31(27)	30(23)	24(21)
溺水	3(2)	2(2)	8(6)	4(3)	4(4)	4(3)
帰還不能	11(0)	1(1)	2(1)	0(0)	1(0)	0(0)
その他	2(2)	0(0)	3(3)	0(0)	1(0)	2(2)
合計	97(59)	56(37)	82(60)	67(49)	59(42)	59(44)

TOPIC

（ ）は死者・行方不明者を示す

TOPIC

最も多い海中転落の27人中、9人が車両による海中転落で、件数としては6件である。その他の海中転落者のうち、13人は転落時の状況が目撃されないまま漂流しているところを発見されたものである。